



環境における取り組みや情報開示を評価

## キューピーグループ、CDP「水セキュリティ」分野で 最高評価の「A リスト」に初選定

— キューピー株式会社 —

キューピー株式会社（本社：東京都渋谷区、代表取締役 社長執行役員：高宮 満、以下キューピー）は、環境情報開示システムを提供する国際的な非営利団体である CDP※<sup>1</sup> より、環境に対する目標とその達成に向けた取り組みが評価され、「水セキュリティ」の分野において最高評価である「A リスト」※<sup>2</sup> に初めて選定されました。



キューピーグループは、創始者 中島董一郎の「食を通じて社会に貢献する」という精神を引き継ぎ、社会課題の解決とグループの持続可能な成長を目指しています。社会・環境分野においては、キューピーグループ サステナビリティ基本方針のもと、国連の持続可能な開発目標（SDGs）を参考に重点課題を特定し、グループ一丸となり取り組みを推進しています。

キューピーグループは水資源の持続的利用として、2030年度までに水使用量（原単位）の10%以上削減（2020年度比）を目標に掲げています。2024年度はグループの生産拠点における取り組みにより7.8%削減しました。また、水リスクの高い拠点を把握し事業継続に備えています。

キューピーグループは、これからも企業価値創造と持続可能な社会の実現に向けて、当グループならではの環境保全活動を継続していきます。

■キューピーグループ サステナビリティサイト：

<https://www.kewpie.com/sustainability/>

※1 CDPは企業や自治体の環境情報開示を促進する活動を行うイギリスを本部とする国際的な非営利団体。

※2 「気候変動」「水セキュリティ」「フォレスト」の3分野について、8段階（A、A-、B、B-、C、C-、D、D-）で評価。